

平成23年度新しい公共の場づくりのためのモデル事業実績報告書

1 1 成果等報告

事業名	復興支援に向けた協働マッチング推進事業																								
事業実施主体名	岩手県連携復興会議																								
実施期間	平成23年8月1日～平成24年3月31日																								
支援額 (注釈参照)	<p>※ 支援額は総額及びその内訳を記載してください。</p> <p>5,557,623円</p> <table border="1"> <tr> <td>① 人件費</td> <td>2,152,413円</td> </tr> <tr> <td>② 諸謝金</td> <td>168,888円</td> </tr> <tr> <td>③ 旅費</td> <td>1,179,142円</td> </tr> <tr> <td>④ 消耗品費</td> <td>355,677円</td> </tr> <tr> <td>⑤ 印刷製本費</td> <td>65,582円</td> </tr> <tr> <td>⑥ 通信運搬費</td> <td>229,266円</td> </tr> <tr> <td>⑦ 使用料及び 会場賃借料</td> <td>393,585円</td> </tr> <tr> <td>⑧ 広告宣伝費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨ 委託費</td> <td>900,900円</td> </tr> <tr> <td>⑩ 施設等の整 備費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑪ 設備備品購 入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑫ その他</td> <td>112,170円</td> </tr> </table>	① 人件費	2,152,413円	② 諸謝金	168,888円	③ 旅費	1,179,142円	④ 消耗品費	355,677円	⑤ 印刷製本費	65,582円	⑥ 通信運搬費	229,266円	⑦ 使用料及び 会場賃借料	393,585円	⑧ 広告宣伝費		⑨ 委託費	900,900円	⑩ 施設等の整 備費		⑪ 設備備品購 入費		⑫ その他	112,170円
① 人件費	2,152,413円																								
② 諸謝金	168,888円																								
③ 旅費	1,179,142円																								
④ 消耗品費	355,677円																								
⑤ 印刷製本費	65,582円																								
⑥ 通信運搬費	229,266円																								
⑦ 使用料及び 会場賃借料	393,585円																								
⑧ 広告宣伝費																									
⑨ 委託費	900,900円																								
⑩ 施設等の整 備費																									
⑪ 設備備品購 入費																									
⑫ その他	112,170円																								
会議体の取組状況	<p>1週もしくは2週毎に、岩手県庁でミーティングを実施し、取り組み状況の進捗管理や、情報共有を行っている。協働体各団体の取り組みは以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわて連携復興センター 相談業務の実施、NPO・NGO会議の運営 協働コーディネーターの配置、協働事業スキームの構築支援 ・岩手県（復興局生活再建課） 県庁内各課、各市町村との連絡調整の実施 支援制度、助成金等の紹介 																								
事業概要	<p>※ 事業の概要が分かるように、100～150字程度で簡潔にまとめて記載してください。</p> <p>本事業は、岩手県、市町村、NPO、地域コミュニティ等、異なる主体間での協働マッチングおよび各種支援制度・助成金等の獲得を支援することにより、岩手県内における復興と持続可能な社会の実現に向けた「協働の基盤」を構築することを目的とする。</p>																								
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>(1) 復興事業における官民・民協働の推進</p>																								

	<p>(2) 復興に関する地域間、団体間のノウハウ共有</p> <p>(3) 各種団体の助成金獲得支援</p> <p>(4) 各種制度を活用した雇用事業創出の支援</p> <p>2 実施事項</p> <p>(1) 県外支援団体と県内支援団体とのマッチング、復興関連事業提案を沿岸市町村に提案。各会議への出席。NGOと協働した、県内のみなし仮設住宅への暖房器具の配布。</p> <p>(2) 各種会議の主催と出席、他県団体との情報共有。</p> <p>(3) 活動団体（特に沿岸地域での活動団体）への助成金情報提供とアドバイス。</p> <p>(4) 大船渡市、釜石市、大槌町における緊急雇用創出事業（仮設住宅団地支援）への支援。</p> <p>3 実施方法</p> <p>(1) メーリングリスト、web、会議、個別訪問などによりネットワークを構築し、案件をマッチングした。岩手県復興局生活再建課が沿岸市町村にアプローチし、いわて連携復興センターが同行のうえ沿岸市町村へ訪問。政府の現地対策本部などとも情報交換を行った。</p> <p>(2) 主催会議（JCN現地会議、仮設分科会他）、参加会議（県、市の主催会議、他団体主催会議）への出席と他県団体（みやぎ連携復興センター、日本財団など）との個別会議、面談を行い、情報共有をおこなった。</p> <p>(3) メーリングリスト、web、会議、個別訪問などにより、活動団体とのネットワークを構築し、情報提供を行い、相談等に対して個別にてアドバイスなどを実施。</p> <p>(4) 沿岸市町村への提案活動や、被災者支援事業のスキーム構築支援などを行い、各地での支援事業の立ち上げ支援を行った。</p> <p>4 実施の分担（直接、委託、助成を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸市町村へのアプローチは復興局生活再建課が実施。 ・定例のミーティングにおいて、協議体各団体等の情報共有のほか、各種事業の実施に際し、より効果的な支援となるように企画段階から両者で協議を重ねた。 ・個別団体に対する支援はいわて連携復興センターが実施。 ・いわて連携復興センターの加盟団体である、下記団体が被災地支援に入っており、そこで協働コーディネーターとして事業支援を行った。 <p>委託：いわてNPO-NETサポート（北上市）→大船渡市、大槌町</p> <p>委託：レスパイトハウス・ハンズ（一関市）→陸前高田市</p> <p>委託：アットマーククリアスNPOサポートセンター（釜石市）…釜石市</p> <p>※ 委託・助成した団体等がある場合、当該団体名等について記載してください。</p>
<p>得られた成果及び自己評価</p>	<p>※支援の成果、波及効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興局生活再建課といわて連携復興センターにおける定期ミーティングについては、県庁内の他部局や必要に応じて県内外の活動団体も参加するなど、異なる主体間での連携が図られ、総合的な支援活動ができた。 ・沿岸市町村への緊急雇用創出事業の提案、支援について行い、大船渡約80名、大槌約90名、釜石市約80名の雇用が確保され、事業化が進められている。 ・他県団体との会議（3県連携復興センター会議等）を行う事で、他県の好事例についての情報を得る事ができ、県外からの支援情報についても入手する事ができ

	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金情報についての案内を行う事で、県内団体での助成獲得に寄与する事ができた。 <p>{次年度構想について}</p> <p>初年度のマッチング事業において、個別訪問、会議の主催、参加などにより、実績ができただけでなく、各機関、団体との関係性を築く事ができました。</p> <p>次年度はそれらを更に活用し、平成24年度新しい公共支援事業にて「自立復興に向けた、NPO、コミュニティ等への連携支援事業」を実施いたします。</p> <p>我々が目指すものは「住民による地域再生」です。ただ、以前の状態に戻すのではなく、そこからさらにステージアップした地域になることが理想的です。その為の手段として、NPO活動やコミュニティ活動への支援事業を連携をもって行います。</p> <p>具体的に下記のアクションを検討しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他団体（県内外）の被災地支援事業立ち上げ、運営サポート ・各種セミナー、講座、個別相談の実施（沿岸NPO、行政、コミュニティなど）。 ・なりわい支援（観光、コミュニティビジネスなど） ・外部NGO、NPOから県内団体へのノウハウ移転促進 ・様々な主体による復興への機会創出（地域円卓会議）
評価 ラン ク	<p><input checked="" type="checkbox"/>S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/>A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/>B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/>C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/>D：成果が得られなかった （該当する評価にレを付けてください。）</p>

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。